



2017年も残り1ヵ月です
白髪が増えるのが早いはず…あっという間に1年が過ぎ去ってしまいます
2018年こそは日本にとって、皆様にとって
良い年になりますようお祈りいたします
巷では経済が前向きだと言われていますが
人出不足、賃金を上げられないなど多くの課題があります
夢を…希望を捨てずに頑張れば素晴らしい年が来るでしょう

～12月掲載内容～

- *日本よ、あるべく姿に戻れ!!
- *政治の世界では
- *原因は何か!?
- *本当に日本を取り戻すには
- *日・米・中・韓は今どうなっている?
- *まとめ)
- *野菜高騰
- *外国人研修生

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

日本よ、あるべく姿に戻れ!!

日本の将来は決して明るいものではありません。このままではアジアの三流国になってしまわないかと憂えています。

考えてみて下さい、GDP(国民総生産)が世界3位なのに1人当たりの国民総生産では世界で22位、アジアの中ではシンガポール、香港に次いで3番目なのです。

おまけに国連の常任理事国でもないのに、分担金は2位で米国に次いで大きく負担しています。

日本企業が海外に移転(進出)し海外からの配当を多く貰っています。貰うのは良いのですが一方では技術を海外に移転し日本が空洞化している事は間違いありません。また経営上の判断を間違い青息吐息になっている企業が多く出てきています。もっと端的に言うと…テレビで一躍活躍かと思われたシャープが今や台湾企業である鴻海(ホンハイ)の傘下となっています。日本のシャープは香港のカオルーンサイド(九龍側)から香港島と見れば大きなネオンサインが見え、40年前に香港を訪れた日本人は自国に誇りをもった事だと思います。しかし現在ではシャープのネオンサインは消え、韓国企業のサムソンの広告塔となっています。

東芝は上場廃止を何とかクリアしたようですが、ノートパソコンと言えば「Dynabook」と言われるほど世界で有名でしたが、今は見る影もなく撤退を余儀なくされています。

また、技術の結晶と言われる半導体市場の占有率は、東芝がこの部門を売り出したお陰で下降の一方です。おまけに川崎重工の技術が詰まった日本の新幹線の技術も中国に盗まれているのです。これは売り込みの為のグランドデザインを描いた長谷川聡前川崎重工業とJR東日本によるもので、中国への新幹線技術の売り込みに一貫して反対していたのは国鉄改革三人組の一人で、民営化を成功に導いた現JR東海会長の葛西敬之でした。葛西は「中国に新幹線のような最先端技術を売ることは国を売るようなものだ」と言い反対したのです。ところが契約が実行されるや、中国はこの技術に少し手を加え国際特許申請したのです。タダ同然で取得した新幹線…川崎重工の技術供与を良いことに中国が独自で開発したと言っているのですから、中国が海外に売り込みとは許しがたい問題です。

日本人よ、人の良いのもいい加減にしたらどうだ!!

こんな事を見ていると現在の日本には独自の技術が残されていません。

参考) 常任理事国

常任理事国とは、安保理を構成する15カ国のうち、中国、フランス、ロシア、イギリス、アメリカの5カ国は常任理事国と呼ばれ、国連憲章が改正されない限りほぼ永久に常任理事国である。常任理事国は、地位が永久的である上に、決議の際の拒否権も持っている。

政治の世界では

虎視眈々と中国に尖閣諸島を狙われ、韓国には竹島を実行支配されている。

中国は南シナ海のスプラトリー諸島(中国名:南沙)に岩礁など既に7つの人工島を造成し埋め立ては完了、更に新たな埋め立ての恐れもあります。

日本は負け犬の遠吠えの如く吠え、頼みの綱である米国は「航行の自由作戦」で恰好だけは付けるのですが、習近平国家主席の提唱する構想「一帯一路」は着々と実行されています。

日本のODA(政府開発援助)では世界で1つ下げ5位、もっとも中国は全くありません。

また韓国にも馬鹿にされています。韓国は世界中に「慰安婦像」を今もなお増殖させており、韓国との間で締結した条約や約束事なんてするだけ無駄な結果となっています。

今日約束しても明日には約束を破る国なのですから。

1965年、日本と韓国の間で締結された両国の国交正常化のための日韓基本条約です。これには「日韓間の両国間及び国民間の請求権に関する問題は完全かつ最終的に解決されていること」「1945年8月15日以前に生じたいかなる請求権も主張もすることが出来ないものとしている」にも関わらず、再度請求要求するとは…なんという国なのだ！

今度は2016年12月に韓国政府と日本政府は合意に基づき、元慰安婦を支援するため韓国政府が設立した財団に10億円を拠出、財団から元慰安婦の女性らへの現金支給も始まりましたが、韓国政府は日本大使館前の慰安婦像は撤去するとの約束を反故にし、そればかりか釜山に慰安婦像を設置し問題の適切な解決に向けた努力や約束が果たされておらず反対となっています。

韓国という国は約束を守らない国であることが確かですが、韓国人も同様ですか？

私は韓国人の全てがこうでなく常識を持った人達が大勢いると考えていますが、このように約束を守れない人達を見ていると全ての韓国人が同じなのかと考えざるを得なくなります。

どちらにせよ、日本は相当な覚悟を決めなければ中国や韓国に馬鹿にされ続け、太刀打ち出来ないのではなかろうか…技術、政治の問題だけ取り上げましたが、このままでは日本の前途に不安を感じてしまいます。

参考) 一带一路

中華人民共和国(中国)が形成を目指す経済・外交圏構想のこと
西部-中央アジア-欧州を結ぶ「シルクロード経済帯」(一帶)と、中国沿岸部 - 東南アジア - インド- アフリカ - 中東 - 欧州と連なる「海上シルクロード」(一路)からなる陸と海の交易構想道路

原因は何か!?

日本が落ち込んできた原因の一つは教育と憲法にあると考えます。

戦後に左翼的な朝日新聞に乗せられ「自虐史観」を植え付けられました。「日本は悪い」という歴史観をGHQ(連合軍最高司令官総司令部)に押し付けられ、日本社会や歴史学界、日本教職員組合などが占領政策を支えGHQに迎合してきました。戦前の日本国民が共有していた全ての価値観は根底から否定されたのです。これにより日本国民は自信を喪失し誤った教育を長い間に行ってきました。

例を挙げると…筆者達の小学校時代の運動会、徒競走では順位をつけノートや鉛筆などの賞品がでました。現在では全員が平等だからと順位を付けずに全員に鉛筆などが配られます。これは良い子の「競争力」を削ぐ訳ですが、社会に出ると「競争」が待っているので適応できない人達が続出してしまいます。

同様に、授業の態度が悪ければバケツを持って廊下に立たされるのが当たり前の昔でしたが、ゲンコツや平手打ちなども時には愛のムチとしてありました。先生に「悪い事をしたら殴って下さい」という親御さん達ばかりで、自分の子も他人の子も同じだと叱ってくれるおじちゃんやおばちゃんがいたものです。でも現在はどうでしょう…子供を廊下に立たせた、子供を殴った、挙句の果てには子供に録音させて脅かす保護者、そういう保護者達ですから当然にして子供も先生を舐めて掛かり、先生の前で「殴れるものなら殴ってみろよ、首になるぞ～」と脅かす始末。

電車に乗っていても周囲の迷惑も考えず子供を放置する親が多く、見るに見かねて叱ったものなら保護者にコテンパンに責められ呆れ果ててしまいます。だってそうですよ、自分の孫を叱っても文句を言う現在社会なのですから。

子供がおかしいという事は親もおかしいのです。

確かに現在の先生達にも盗撮や、わいせつやとおかしな人が多いですが、先生も保護者が恐ろしくてまともな教育が出来ません。

現代の先生は聖職者ではなく、勤務時間を問題なく過ごせば下校した後の生徒の事は知りません…とサラリーマン化しているのではないのでしょうか？

昔はいました、自分の子供のように泣きながら殴ってくれた先生、泣きながら叱ってくれた熱血先生、そんな先生の想いが伝わって更生した生徒も沢山いましたが、今となっては伝説のようになっています。

そういう先生や保護者、30年前までに沢山いたのですがね。

現在の学校の校長先生の大半は体育大学を出ているという話もあります。そうでないと生徒に馬鹿にされるのだそうです。

決して暴力が良いとは思いません。しかし時には愛のムチも必要ではないか、或いはそうする姿勢が必要でないか…そうでないと生徒に舐められ本当の教育が出来ないのではないかと考えさせられます。

また、家庭の教育も同じです。ダメな事はダメ、悪い事は悪い事と保護者が教育しなければなりません。何でもかんでも買い与え、言う事を聞き、こういう事したら痛いんだよ、相手を思いやる気持ちが大事だよと生活の中で教育していかなければなりません。現代は物の溢れた時代で大正や昭和の真っ只中ではないのですから頭ごなしも通用しませんが、お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんが教えていかなければならない事が沢山あります。これは単に教育ではなく愛情をかけるという意味も含まれるのです。

どうか社会も家庭も教育を見直して欲しいと思いますね。

本当に日本を取り戻すには

よく日本では「普通の国」という言葉を使います。「普通の国」ってどんな国なのでしょう？

軍隊が必要だ！憲法第9条は改正する必要があるという「右翼」と言われます。筆者は軍隊が必要だと思っていますが、右翼でも左翼でもないと思っています。

その理由は…あなたの家庭から想像して下さい。

あなたの家に包丁を持って悪人が侵入し切りかかってきました…どうします？

花瓶や椅子、とっさに回りにあるものを手当たり次第掴んで応戦しませんか？

或いは、戦える物を常備していることを悪人が知っていれば悪人も近寄らないでしょう。

これが日本国ならどうしますか？

出来れば戦いたくありません、平和が一番です。でも何も武器を持っていないから周辺国に舐められたり、うっかりすれば領土を取られるかも知れません。他国に頼らなければ防ぐ力がないのですから…。軍隊を持ち、いつでも戦える姿勢を能力があれば簡単に手出しは出来ません。防衛の為の軍隊で、これに変な制限を設け平和憲法があるから攻めてこないなんて幻想も良いところです。備えあれば憂いなしなのです。

国の成立要件の4要件とは「領土」「国民」「主権」「政府」です。いずれが欠けても国は成り立ちません。この為には憲法9条はおろか、自主憲法なるものに改正しなければならぬのです。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

日・米・中・韓は今どうなっている？

トランプ大統領は11月5日から14日までアジアを訪問しました。

今回のトランプ大統領のアジア訪問の行動を解せないのは筆者だけでしょうか？

その結果を検証してみましょう。

日本訪問)

まず日本を訪問し蜜月かのように安倍首相とゴルフをしながら対話し、北朝鮮の拉致問題解決に努力するとの話を引き出しました。←理解できます

韓国訪問)



さて、韓国ではドクト(日本名：竹島)エビを材料として料理を提供されました。また、公式の晩餐会には韓国大統領府が招待した元慰安婦の李容洙さん(88)が出席し抱擁の写真を撮影。

韓国は日本に対する「反日色」を米国大統領にあらかさまに見せつけ外交辞令、常軌逸した非常識極まりない晩餐会です。トランプ大統領は日韓が仲良くなるように仲立ちしているにも関わらず、このような態度を取った文韓国大統領との握手を拒否、米韓首脳会談も10分で打ち切りました。←理解出来るどころか文大統領の一人芝居です

韓国にも常識の通じる人も多いでしょう…その人たちに気の毒で仕方がないです。

ちなみに文大統領の賃金値上げ政策ですが、売り上げは同じで賃金が上げられるので韓国の中小企業は必死に堪えているようですが、フーと吹けば倒れる会社がゴロゴロあるそうです。

参考) 李容洙

韓国大邱(テグ)生まれの韓国人元慰安婦だという女性。

6ヶ月前には「この国の主でもない米国の野郎どもが私達の大韓民国にサードを配置するとか話にもならない、(配備を求める)音を出すな」とマイクを持って主張しました。

「ミグクニョンノム(米国奴婢)」とマイクを持ち放送禁止レベルの卑語で批判した人物

中国訪問)

トランプ大統領は習近平国家主席との会談の冒頭で「米中関係ほど重要なテーマはない」と語りました。習氏はこの一言を引き出す為にトランプ氏を北京に招いたと言っても過言ではありません。世界を米中の2大国で2分しようと言ったのと同じです。

習氏は会談前からトランプ氏に過剰ともいえる気遣いを見せました。天安門広場を一望できる人民大会堂東門での歓迎式典。英語をあまり話さないはずの習氏が通訳を介さず、笑顔でトランプ氏に身振り手振りを交えて説明する様子がテレビに映りました。



明と清の時代に皇帝が住んだ故宮にトランプ夫妻を招いてもてなし、少し前であれば党内から「米国に媚びている」と批判が起きてもおかしくない歓待ぶりです。

しかし現在の習国家主席にそんな心配は要りません。党大会後の新指導部は側近で周りを固めており、経済、軍事、文化で米国と並ぶ強国を築く目標に専念する環境が整っています。その実現までは米国との協力が欠かせず、貿易不均衡などで多少の摩擦はあっても米国と決定的な対立を避けるのが習氏の基本戦略なのです。

2013年に訪米した際、習氏はオバマ大統領に「広大な太平洋には米中両国を受入れる十分な空間がある」と訴えています。米中で国際社会の秩序づくりを主導する「新型の大国関係」の呼びかけですが、オバマ氏はこの話に乗りませんでした。

習国家主席が望んでいる一帯一路構想がトランプ大統領の会談の通り、実現できる可能性が見え中国の「勢力圏」が生まれつつあるのです。



米国と対等に渡り合う中国の大国外交に自信を深める習主席の姿です。米企業との約2500億ドル(28兆円)に及ぶ商談を餌にぶら下げ、米中の棘になっている貿易不均衡の問題でトランプ大統領の攻撃を封じたのです。

まさにトランプ大統領の米国第一主義が他の国はどうなっても構わないという主義のように思えます。

それにしても中国の習国家主席お見事、米トランプ大統領をどのようにして揺さぶったのか…。

まとめ)

米国を旅立つ時には自由で開かれたインド太平洋戦略をアジア外交の中核とし、推し進めていく事が目的であり、これを米国の看板戦略にすると決定し大統領自身も納得しベトナムのダナンで代々の発表する予定でした。これは取りも直さず太平洋からインド洋に跨る地域に法の支配と市場経済を根付かせるため、賛同する国々と経済や安全保障の両面で協力を深めようというものです。

ところが、蓋を開けるとトーンダウンし殆どが米国第一主義の演説、米国を縛る多国間交流に合わないとした上に「私はいつも米国を第一に考える」と断言したのです。

14日、トランプ大統領はアジアの自由陣営の期待を裏切り、日中ロや東南アジア諸国連合(ASEAN)など18ヶ国が集う東アジア首脳会談も欠席し帰国しました。

なぜこのような事になってしまったのでしょうか？

色んな仮説が成り立ちますが、第一にトランプ大統領は太平洋戦略に関心がない。第二に米国内のトランプ支持者を喜ばせる米国最優先の通称方針を強調したかったから。第三に中国に遠慮しなければならない理由がある。

第一の理由として、トランプ大統領の「米国第一主義」は分からずでもないですが、太平洋に関心がないとはどのように考えても解せません。

第二の理由は、確かに大統領の支持率は37%に下落しバージニア州知事選では共和党候補が大敗、法人税減税法案も綱渡り状況です。これは少し納得できるのですが、大統領の国内ファンに米国優先と言いたかったのかな…とも考えられます。

しかし、太平洋を取り巻く国々が中国への包囲網を作れば米国の利益にも通じます。それも口先外交だけで…これも違うか…。

では第三の理由が正しいのではないのでしょうか？ その理由は幾つかあります。

米中間で2500億ドル(28兆円)の商談が決まりました。この商談は拘束力がなく契約が実現するかどうかは別問題として、これに気を良くしたのか…。

或いは、娘婿クシュナー、娘のイバンカ氏に莫大な商談を中国がもたらしたのではないかと考えられます。これならトランプ大統領がビジネスマンであったと仮定して納得できます。また、中国がやりそうな事だと理解できるのです。

今回のトランプ大統領の演説の中国への過剰な配慮や、東アジア首脳会談にも欠席したのは何故か…読者も考えて下さい。

いずれにせよ、日本が韓国の事情にせよ中国の事情にせよ、米国を過剰に頼りにするのは止めた方が良くないのでしょうか？

防衛も経済も自分のこと(日本)は自分(日本)で、やはり自前で国を守る事が大切です!!

野菜高騰

最近スーパーに行くと野菜の高さに驚きますが、周囲を見渡してもカゴに野菜を入れている主婦は殆どいません。

10月からの相次ぐ台風で葉物を中心に野菜の価格が高騰しており、家族が多いと家計のやりくりが大変なので100円ローソンや袋入りのカット野菜、また冷凍野菜に人気集中しているようで売り上げを2割~3割伸ばしています。

普段30円~40円のネギが140円、白菜1/4が150円だと主婦の皆さんは買えませんよね。

ですが、野菜高騰で売り上げが伸びたお野菜もあるんですよ！

普段から家計お助け野菜として活用されているモヤシ以外にも豆苗やブロッコリースプラウトのような台風の影響を受けない水耕栽培で作られる発芽野菜です。

発芽野菜は少量で、効率的かつ効果的に栄養補給できる食品で他にはかいわれ大根やアルファルファなどの発芽野菜があります。普段は脇役のお野菜ですが主役に抜擢してあげて下さい！

でも!! レタスのサラダが食べたい!! キャベツが食べたい!! と思いますよね。そういう時はサラダーバーのあるフランチャイズレストランに行くのも一つの手かもしれません。野菜高騰に伴い売り上げを伸ばそうとサラダーバーの価格を下げて集客アップしているチェーン店もあります。今まではケーキや果物が主役だったサラダーバーですが、最近はレタスやトマトの消費が断然多いそうです。

もう1ランク上がると自宅で簡単にお野菜を作ります。

どうやって作るかという…お金を掛けずにペットボトルで作る人もいれば、水耕栽培キットを購入してレタスやラディッシュ、プチトマトなどを作る人もいらっしゃいます。



水耕栽培キットは通販で1万～3万円で購入できます。
インテリアにもなり、食べられるというところが良いですね！
興味のある方は是非作ってみて下さい♪

外国人研修生

研修生が各企業で実習する前の1ヶ月間は当組合が色々な講習をさせていただきます。これが終了し企業に行く日が決まれば送別会と名をつけ食事会を企画し、母国に帰国するまでの目標などを食事しながらお話しします。

今回は中国とタイからきた研修生で、3年間実習して帰国したら「経営者になりたい、そのために勉強する」「日本語検定2級を目指す」「お金を貯めたい」など、それぞれに色々な目標を持っています。こういうのを目の当たりにすると、日本の若人にも大きな目標や夢を持ってほしいな…と思います。

彼らが実習に行った先では目標に向かって一生懸命になるだろうし、日本人社員への刺激にもなり一挙両得ですね。受け入れ企業様にとっては実習生が来た事で生産が伸びるだろうと期待しています。今回はたまたま11月に誕生日を迎えた実習生が3人いたので、急遽ケーキを買ってお祝いしました。皆さんは大変喜んで楽しいひと時と過ごせたと嬉しく思います。

